

LET 関東支部 研究支援プロジェクト研究計画書

研 究 内 容	部門	一般公募	若手支援
	題名		
	概要		
補助金の 主な用途			
著作権や 研究倫理上の配 慮や対処			
研究期間		年間 (年 月 ~ 年 月)	
構 成 員 (所 属)	代表者 (会 員)	Email:	
	会 員		

	非会員	
成果発表	成果発表： 年度 春季 ・ 秋季 支部研究大会 (中間報告： 年度 春季 ・ 秋季 支部研究大会)	

研究支援プロジェクト研究計画書（記載例） ※提出時には以下を削除

	部門	一般公募 若手支援
研究内容	題名	中学校の英語学習において提示すべき Input に関する研究
	概要	中学校の英語学習において、仮に1回の授業時間を50分とすると、発音、語句、文構造、異文化情報に関してどの程度の Input を新情報として一回の授業で提示すべきかについて研究する。かつて、Krashen(1985)は理想的な Input は“i + 1”(「現在の理解能力より少し難しい程度」の教材)であると主張したが、具体的な数量的主張となっていなかった。その後も、特にこの点に関する数量的研究がなされてきたとは言いがたい。したがって、本プロジェクトはこの点に関し、量と質の両側面から、東京都内の公立中学校10校を対象に、使用しているテキスト(補助教材を含む)の分析および先生に対するアンケート調査、さらに学習者の到達度分析をする。ただし、上記中学校のうちの1校には特別にお願いして、私たちが用意した補助教材を使用してもらうことにした。(以下省略)
	補助金の主な用途	アンケート調査に関わる資材や録音機器、使用補助教材作成費用、分析用ソフトウェア購入など
	著作権や研究倫理上の配慮や対処	調査対象校で使用中の教材を分析する方法については出版社に承諾済み。教員に対するアンケート調査については管理職に許可を得ている。調査過程で未成年である生徒の個人情報を取扱うことはない。

研究期間		2 年間 (2023 年4月 ~ 2025 年3月)	申請年度の4月からとなります。
構成員 (所属)	代表者 (会員)	関東太郎(関東支部大学) Email: taro@kantokoubo.jp	学生の場合は、所属先に加えて「~学生」「~大学院生」と明記してください。 連絡先の Email アドレスも明記してください。
	会員	関西花子(青空中学校)、中部一郎(南中大学)、九州アヤ(五州中学校)	
	非会員	日ノ本英吾(全国高校)	
成果発表		成果発表: 2024 年度 春季・ 秋季 支部研究大会 (中間報告: 2025 年度 春季 ・秋季 支部研究大会)	